

南北の平和的統一目指し交流

第2回「南北統一とアジアの平和をめざす集い」

日・韓・朝の議員、文化人集う

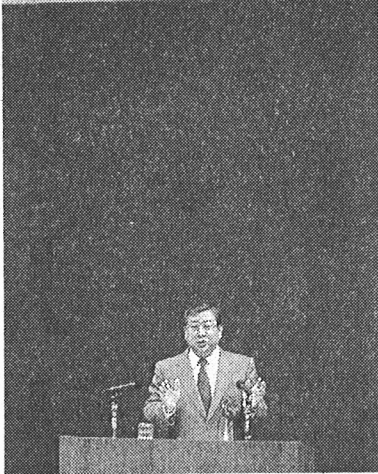
第二回「南北統一とアジアの平和をめざす集い」(主催・南北統一とアジアの平和をめざす集い実行委員会、後援・関西アジア人協会等)が十一月二十三日昼、大阪市の「グレート大阪南・大ホール」で開かれた。

これは、今年十月十九日に開かれた「第一回」の集いに続き、いさつをし、日・韓・朝の関係の中で、日・韓・朝の議員、民衆、朝鮮総連関係者、学者、有識者等約四百人が参加、分断されている韓国と北朝鮮の「平和的統一」に向けての活発な意見の交換と文化交流が行われた。

まず、今年十一月の「朝鮮学校・全国大会」で「最優秀賞」を受賞した東大阪朝鮮中級学校の生徒による朝鮮舞踊、民族楽器演奏、合唱等が披露され、続いて、関西アジア人協会会長の

「南北統一とアジアの平和をめざす集い」
日時：2002年11月23日

講演する世界日報社長・主筆の木下義昭氏



に向けての真剣な交渉が進められており、近いうちに妥結する可能性が高い。拉致問題を早期に解決し、北東アジアの平和、復興、繁栄について日・韓・朝・米・中・露の各国が同じテーマで真剣に話し合うべきとし、具体的には「日韓トンネルで九州(唐津)と釜山を結び、ソウル平壤そして上海へ、またシベリア鉄道と連結しユーラシア大陸を横断、ロンドンまで通ずる

世界ハイウエーを建設すること、が世界平和に繋がると述べた。また、韓国・慶尚北道議会議員の朴斗弼氏が韓国議員団を代表してあいさつ、「南北統一を平和的に実現できるように全力を尽くしたい」と抱負を語り、東大阪朝鮮中級学校校長・夫永旭氏は、「朝鮮学校の生徒は、チマチョゴリを着て学校に通っていますが、自分の出自を隠さな

脱がさない社会をつくっていただきたい。私たちも南北統一、アジアの平和のために全てを投げ打って行きたい」と訴えた。アトラクションでは、「韓国重要無形文化財第五号・パンソリ伝授者・指頭画」の第一人者・高洪先氏によるパンソリと指頭画の実演が行われ、「祖国統一」の書などが披露され、会場を埋めつくした参加者から万雷の拍手を受けた。